

教職員の働き方改革へのご理解とご協力について（お願い）

～「活力ある子どもを育てる教育」の実現のために～

新緑の候、保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、日頃より本町の教育行政に対し多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、大木町教育委員会では、子どもたちが毎日を元気に過ごし、自ら学び、成長できる「**活力ある子どもを育てる学校づくり**」を推進しております。

その教育活動を支える根幹は、子どもたちと日々直接向き合う「教師」です。教師自身が心身ともに健康で、情操豊かに教壇に立てる環境を整えることは、本町の子どもたちに質の高い教育を提供し続けるために避けては通れない課題です。

そこで、「教職員の働き方改革」の推進に向けて、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いとして、別添のチラシを作成しました。

ここでは、チラシ作成の背景として、現場の現状を踏まえて、大きく2点から述べさせていただきます。

1 「子どもと向き合う時間の確保」と「指導の質」の維持

学校生活において、時に子ども同士のトラブルや問題行動が発生することがあります。私たちは、こうした問題行動の場面こそが子どもたちの「社会性」を育む重要な指導の機会であると考えています。

しかし、丁寧な事実確認や関係する子どもたちへの心のケア、再発防止に向けた指導には、膨大な時間を要します。これまでは、教師が休憩時間や放課後、家庭での時間を削って対応してまいりました。緊急な場合は、授業時間に対応して学習進度を調整しながら対応してまいりました。

近年のスマホ・インターネット等のトラブルは、学校での対応は到底処理しきれない重大な状態になっています。その負担が、日々の学習指導を中心とした本来の教師の業務に差し支える状況になりつつあります。

（※ 情報モラルについての指導は、学校で行っていますが、スマホの管理は保護者にあります。その点につきましては、保護者が責任をもって管理をお願いします。）

子どもたち一人一人とじっくり向き合う「時間の確保」と「指導の質」を維持するためにも、学校全体での業務の見直しや教職員の適正な勤務時間の確保が不可欠となっております。

2 保護者の皆様と歩む「パートナーシップ」の構築

大切なお子様を育てる中で、学校に対しての不安や悩みを感じ、時には厳しいご意見を抱かれることは当然のことと存じます。

私たち教育委員会も、お子様を思う保護者の切実な親心には深く共感し、その思いを真摯に受け止めたいと考えております。

一方で、教育活動の範囲を超えた過度の要望、あるいは深夜・休日にわたる対応が続くことは、教師に極めて大きな精神的なダメージを与えます。

教師が精神的に疲弊し、教壇に立つ活力を失うことは、学校全体の活力を奪い、結果としてすべての子どもたちの成長とウェルビーイングに影響を及ぼしてしまうと考えます。

※ ウェルビーイング Well-beingとは

「心も体も、そして社会とのつながりも、すべてが満たされた幸せな状態」です。例えば、

- ・ テストでよい点数を取った瞬間の喜びではなく、日々を前向きに、自分らしくすごせている。
- ・ 他者と比較するのではなく、その子なりのよさを発揮して、意欲的に生活している。
- ・ 心が安定し、友達や家族、地域の中で「自分の居場所がある」と感じている。
- ・ 「自分は大切にされている」「自分は～が好きだ」「自分の得意は～だ」「これが自分らしさだ」と感じている。 など

より効果的な教育活動となるように、お願いです。

気になることは、担任や管理職にお気軽にご相談ください。

その際、お子様の前でお家の方が教師や学校を批判することは控えていただきたいものです。大好きなお家の方が教師を批判しているのを聞いたお子様は、それ以降、教師の話に素直に聴けなくなってしまう傾向があります。

まずは、ご家庭でお子様の不満や思いをじっくり受け止めてください。子どもは都合の悪いことを伏せてしまうこともあります。そんな時は「自分なら～するかな」と一緒に考え、ご家庭ならではの教育力を発揮していただけると心強いです。共に、お子様の成長を後押ししていきましょう。

教師がゆとりをもち、笑顔で子どもたちと接することができる環境こそが、子どもたちの「ウェルビーイング」に直結します。

教職員の笑顔が子どもの笑顔を引き出し、

それが「活力ある子ども」を育てることに繋がります。

教職員は、「授業の質」を磨き、また「日々の生活の質」を豊かにして、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちにとって最善の利益となるように努めます。教育委員会は、教職員が笑顔でいることができるように、教育環境づくりに全力で取り組んでまいります。

保護者の皆様におかれましては、本趣旨をご理解いただき、大木町の教育を共に支えてくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年4月

大木町教育委員会
教育長 徳永 裕